

兵庫県のに漁場環境情報 (淡路周辺海域 11 号)

2022年 1月26日発行
 兵庫のに研究所

東浦海域では、小型珪藻スケルトネマとキートセロスが多く確認されています。西浦海域ではキートセロスが確認されており、南浦海域では栄養塩を消費する珪藻類は少ない状況です。そのため、窒素は東浦海域で、概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 前後、西浦海域で1 $\mu\text{g-at/L}$ 台、南浦海域で概ね2 $\mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。

(珪藻ほか)

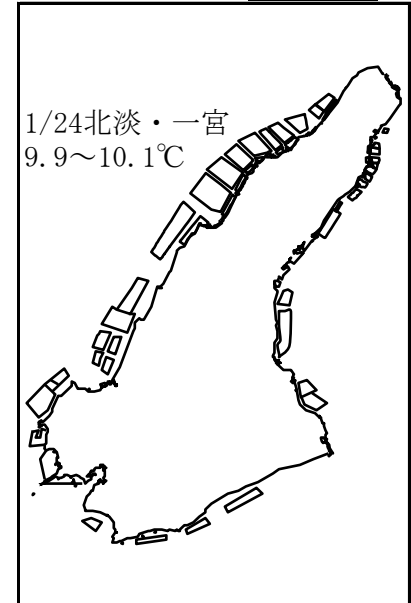
東浦海域では、スケルトネマが海水1 mLあたり600~2000細胞（前回値：300~1200細胞）確認された。西浦海域においても、スケルトネマ・キートセロス等が確認されるが、前回(1/17)調査より発生量はやや減少していた。南浦海域では、栄養塩を消費する珪藻類の発生量は少ない。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	3.7	1.3	3.9	0.5
	リン	0.46	0.19	0.38	0.13
西浦地先	窒素	2.5	1.6	3.8	1.9
	リン	0.44	0.37	0.47	0.39
南浦地先	窒素	3.4	2.2	3.7	1.8
	リン	0.53	0.40	0.46	0.42

(1/17)

(1/27)

水温図



栄養塩 (窒素) 図

2022年 1月26日調査

